

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課	
									H25	H26	H27				H28.9末
2	1	1	患者本位の医療の提供と医療安全の確保  「患者さんのための3つの宣言」実践登録医療機関の割合  29%(H23年度末) ↓ 50%(H29年度末)	○ 県医師会と協力し、未登録医療機関への登録勧奨に努めた。 ・当年度新規登録件数 320か所	○ 県医師会との協力による、広報及び登録勧奨  ○ 未登録の医療機関に対する登録申請書の送付による申請の勧奨	48.3% ・病院 323(94.2%) ・診療所 1,945(44.7%)	A	(参考) 病院 診療所	30.7% 91.9% 25.7% 1,070	42.3% 95.0% 38.0% 1,613	48.8% 93.6% 45.2% 1,926	50%		医療整備課	
2	1	3	がん医療  検診受診率【参考指標】 ・胃がん 男33.1% 女24.8% ・肺がん 男25.1% 女20.9% ・大腸がん 男29.8% 女24.1% ・子宮がん 22.3% ・乳がん 22.9% (すべてH22年) ↓ 50.0%(H28年)	○ がん検診受診推進サポーター養成 527人 ○ がん検診県民サポーター養成 1,877人 ○ コール・リコール等実証事業の実施 4市 ○ がん検診県民サポーター養成研修開催(H27年11月11日) ○ 市町村がん検診結果統一集計のフィードバック(H27年6月)	○ がん検診受診推進サポーター及びがん検診県民サポーター養成 2,000人 ○ がん検診県民サポーター養成研修開催 ○ 市町村がん検診結果統一集計フィードバック(H28年6月)	右記のとおり (平成25年国民生活基礎調査)	A A A A A	胃・男 胃・女 肺・男 肺・女 大腸・男 大腸・女 子宮頸 乳	44.5% 30.9% 46.2% 34.3% 40.6% 35.2% 29.4% 32.8%	— — — — — — — —	— — — — — — — —	50%	—	疾病対策課	
2	1	4	脳卒中医療	○ 特定健診の受診率向上に向けた市町村共同PR事業を支援した。 ○ かかりつけ医から特定健診未受診者に係る検査項目データを提供してもらう診療情報提供事業の取組を普及・支援した。(12市町)	○ 特定健診の受診率向上に向けた市町村共同PR事業を支援する。 ○ かかりつけ医から特定健診未受診者に係る検査項目データを提供してもらう診療情報提供事業の取組を普及・支援する。(20市町予定)										
2	1	5	急性心筋梗塞医療	○ 生活習慣病重症化予防に取り組む市町村保険者に対し、県財政調整交付金による支援を行った。 ○ 特定保健指導実施率の低い市町村保険者に対する指導助言を行った。(4市)	○ 生活習慣病重症化予防に取り組む市町村保険者に対し、県財政調整交付金による支援を行う。 ○ 特定健診受診率及び特定保健指導実施率の低い市町村保険者に対する指導助言を行う。										
2	1	6	糖尿病医療	○ 未受診者対策に尽力する市町村保険者に対し、県財政調整交付金による支援を拡充した。 ○ 市町村保険者との会議で、受診率向上のための優れた取組事例を紹介し、各種取組の実施を促した。	○ 特定健診未受診者対策及び特定保健指導利用勧奨に尽力する市町村保険者に対し、県財政調整交付金による支援を充実する。 ○ 市町村保険者との会議で、受診率向上のための優れた取組事例を紹介し、各種取組の実施を促す。										
3	1	1	県民の健康の保持の推進	※ 医療費適正化計画関連指標  【次ページに続く】	【次ページに続く】	49.5% (H26年度)	B		H23 41.6%	H24 43.1%	H25 45.8%	H26 49.5%	70%		健康長寿課 国保医療課

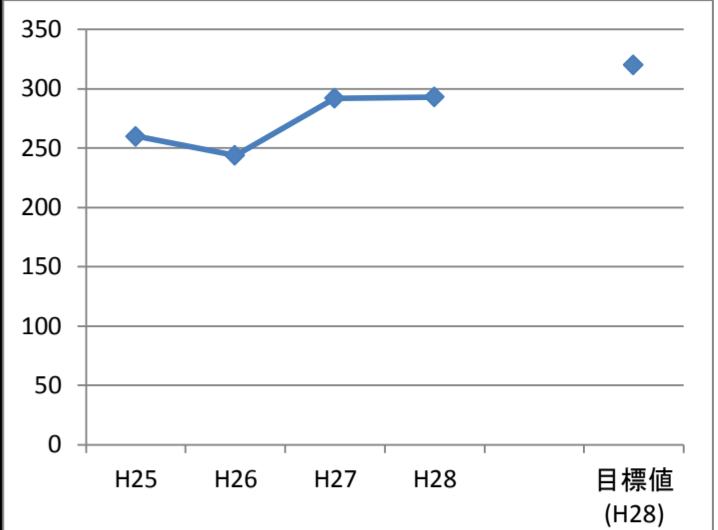
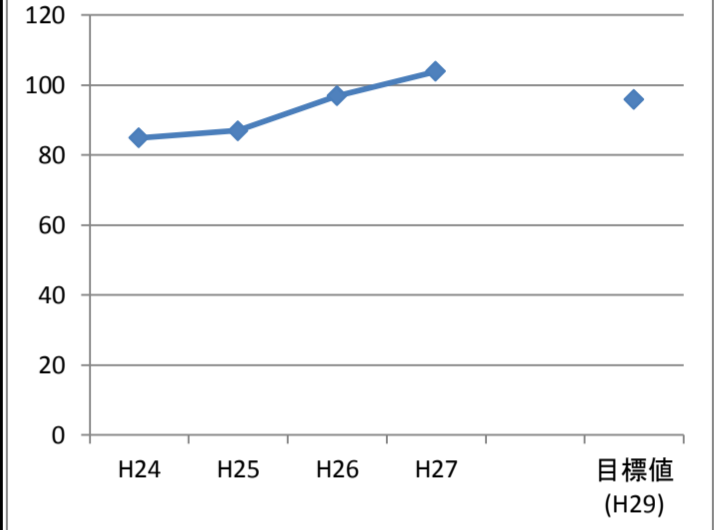
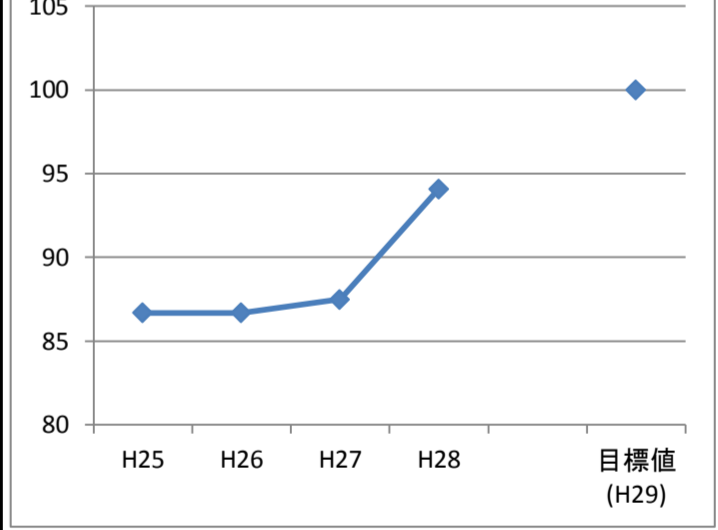
## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部章	節	節(施策)	指標 数値目標	H27年度の実施状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課	
								H25	H26	H27	H28.9末				
3	1	県民の 健康の保持 の推進	特定保健指導の実施率 【参考指標】  12.2%(H22年度) ↓ <b>45%(H29年度)</b>  ※ 医療費適正化 計画関連指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特定健診の受診率向上に向けた啓発活動を実施。</li> <li>○ 医療保険者による、保健指導を担う保健師等に対する人材育成の研修の実施。</li> <li>○ 健康長寿サポーター養成講習の実施による健康づくりに関する知識の普及。</li> <li>○ 特定給食施設等に対する巡回指導及び研修会の開催(13保健所)。</li> <li>○ 栄養関連企業等に対する食品の表示に関する周知及び指導の実施(13保健所)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ データヘルス計画を策定する市町村保険者に対し、県財政調整交付金による支援を充実する。</li> <li>○ 特定健診の受診率向上に向けた啓発活動を実施。</li> <li>○ 医療保険者による、保健指導を担う保健師等に対する人材育成の研修の実施。</li> <li>○ 健康長寿サポーター養成講習の実施による健康づくりに関する知識の普及。</li> <li>○ 特定給食施設等に対する巡回指導及び研修会の開催(13保健所)。</li> <li>○ 栄養関連企業等に対する食品の表示に関する周知及び指導の実施(13保健所)。</li> <li>○ 歯科保健推進事業の推進。</li> </ul>	<b>14.1%</b> (H26年度)	<b>B</b>	H23 14.7%	H24 14.3%	H25 15.4%	H26 14.1%	<b>45%</b>		健康長寿課 国保医療課	
			メタボリックシンドロームの 該当者及び予備群の減少 率【参考指標】  H20年度と比べた <b>減少率25%</b> (H29年度)  ※ 医療費適正化 計画関連指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域在宅歯科医療推進拠点」(県内19か所)を設置し、在宅歯科医療の推進体制を整備。</li> </ul>	<b>2.2%</b> (H26年度)	<b>C</b>	H23 1.8%	H24 2.2%	H25 3.3%	H26 2.2%	<b>25%</b>				
2	1	7	精神疾患 医療	入院患者平均退院率 (入院後1年未満)  68.1%(H21年度) ↓ <b>76%(H29年度)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神科病院の現地指導において、早期退院の促進のために義務付けられている退院後生活環境相談員の選任や医療保護入院者退院支援委員会の開催などが適切に行われていることを確認した。</li> <li>○ 精神科病院からの退院促進を支援するため、精神科病院退院支援事業を実施し、地域援助事業者の招へいに要した費用等を補助した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神科病院の現地指導において、早期退院の促進のために義務付けられている退院後生活環境相談員の選任や医療保護入院者退院支援委員会の開催などが適切に行われていることを確認する。</li> <li>○ 精神科病院からの退院促進を支援するため、精神科病院退院支援事業を実施し、地域援助事業者の招へいに要した費用等を補助する。</li> </ul>	<b>70.0%</b> (H25年)	<b>A</b>	H22 68.1%	H23 68.6%	H24 68.7%	H25 70.0%	<b>76%</b>		疾病対策課
				認知症新規入院患者 2か月以内退院率  24%(H20年度) ↓ <b>50%(H29年度)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症疾患医療センターの活動を支援し、医療・福祉・介護との連携を進め、在宅での認知症患者の介護支援体制の整備を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症疾患医療センターの活動を支援し、医療・福祉・介護との連携を進め、在宅での認知症患者の介護支援体制の整備を図る。</li> </ul>	<b>31.0%</b> (H24年度)	<b>A</b>	H21 26.7%	H22 20.8%	H23 28.5%	H24 31.0%	<b>50%</b>		

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部章	節	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課
								H25	H26	H27	H28.9末			
2	1	8	小児医療 夜間や休日でも小児救急患者に対応できる第二次救急医療圏の割合 57%(H23年度) ↓ 100%(H28年度)	○ 小児二次救急医療を担う医療機関の運営を支援した。 小児救急医療支援事業の実施：10地区、26病院(輪番) 小児救急医療拠点病院運営事業の実施：4地区、2病院(拠点)	○ 小児二次救急医療を担う医療機関の運営を支援する。 小児救急医療支援事業の実施：10地区、27病院(輪番) 小児救急医療拠点病院運営事業の実施：4地区、2病院(拠点)	71.4%	B	71.4%	71.4%	85.7%	71.4%	100%		医療整備課
2	1	8	小児医療 PICU病床数(小児集中治療に対応できる病床数) 2床(H24年度) ↓ 23床(H29年度)	○ 埼玉医科大学総合医療センターが小児救命救急センターを整備するための経費を支援した。	○ 県立小児医療センターにPICUを14床整備する。	8床	A	2床	2床	8床	8床	23床		医療整備課
2	1	8	小児医療 小児救急実践研修を受講した内科医等の数 延べ407人(H23年度) ↓ 延べ700人(H29年度)	○ 内科医など、小児科専門ではないが、普段から小児患者を診ている医師に対して実践的な小児救急医療の研修を実施した。	○ 内科医など、小児科専門ではないが、普段から小児患者を診ている医師に対して実践的な小児救急医療の研修を実施する。	延べ人551人 (平成27年度末時点)	B	492人	525人	551人	—	700人		医療整備課
2	1	9	周産期医療 総合周産期母子医療センター数 1か所(H24年度) ↓ 2か所(H28年度)	○ さいたま赤十字病院が周産期母子医療センターを整備するための経費を支援した。	○ さいたま赤十字病院が周産期母子医療センターを整備するための経費を支援する。	1か所	A	1か所	1か所	1か所	2か所(予定)	2か所		医療整備課
2	1	9	周産期医療 NICU病床数(新生児集中治療に対応できる病床数) 92床(H24年度) ↓ 150床(H28年度)	○ 地域医療再生計画に基づく事業によりNICUの増床を図った(3床)。	○ 第6次埼玉県地域保健医療計画及び地域医療再生計画に基づく事業によりNICUの増床を図る(27床)。	128床 (H28年4月1日時点)	A	96床	119床	122床	128床	150床		医療整備課

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課	
									H25	H26	H27	H28.9末				
2	1	9	周産期医療	NICU勤務看護職員数 204人(H24年度) ↓ 320人(H28年度)	○ 専門的な能力を持つ看護師の養成・確保を推進した。 ・認定看護師資格取得支援の実施:15人 ・認定看護師教育機関支援の実施:2施設 ・認定看護師教育機関派遣支援の実施:14人 ・実務研修派遣支援の実施:4施設	○ 専門的な能力を持つ看護師の養成・確保を推進する。 ・認定看護師資格取得支援の実施:15人 ・認定看護師境教育機関支援の実施:2施設 ・認定看護師教育機関派遣支援の実施:10人	293人 (H28年4月1日時点)	A		260人	244人	292人	293人	320人		医療整備課
2	1	10	救急医療	救命救急センターの専従医師数 84人(H23年度) ↓ 96人(H29年度)	○ 大学医学部における寄附講座の設置・運営による医師確保や、小児二次救急医療を担う医療機関や第三次救急医療を担う救命救急センターへの運営を支援し、総合的に救命救急センターの充実・強化を図った。	○ 大学医学部における寄附講座の設置・運営による医師確保や、小児二次救急医療を担う医療機関や第三次救急医療を担う救命救急センターへの運営を支援し、総合的に救命救急センターの充実・強化を図る。	104人 (H27年度)	S		H24 85人	H25 87人	H26 97人	H27 104人	96人		医療整備課
		10	救急医療	当番日(病院群輪番制・担当日)に救急担当医師を複数配置する第二次救急輪番病院の割合 54.4%(H20年度) ↓ 65%(H29年度)					71.4% (H26年度)	S		H23 56.2%	H24 59.7%	H25 66.2%	H26 71.4%	
2	1	11	災害時医療	救命救急センター及び災害拠点病院の耐震化率 85.7%(H23年度) ↓ 100%(H29年度)	○ 救命救急センターを持つ災害拠点病院の行う耐震改修事業に補助を行った。 ○ 災害拠点病院(耐震化済)を新規指定した。	○ 救命救急センターを持つ災害拠点病院の行う耐震改修事業に補助を行う。 ○ 災害拠点病院(耐震化済)を新規指定する。	88.2% (15/17病院)	A		86.7%	86.7%	87.5%	94.4% (予定)	100%		医療整備課

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節(施策)	指標 数値目標	H27年度の実施状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課													
								H25	H26	H27	H28.9末																
2	1	13	在宅医療	<p>24時間の定期巡回・随時対応サービスを利用できる市町村数</p> <p>0市町村(H23年度末) ↓ 全市町村(H28年度末)</p>	<p>○ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の普及。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者へ新規参入モデルを示すため、調査研究機関に委託し、既存の事業所の実施状況を調査し、分析結果をまとめた手引きを作成(6~10月)</li> <li>事業者等を対象に事業実施に向けた手法を示すため、手引きを活用したシンポジウムを2回実施(10月23日(158人参加)、1月29日(257人参加))</li> <li>新規参入事業者に対して、開始準備に要する経費を助成(11市町(11事業者)に対して交付)</li> <li>ケアマネジャーや県民に対する県政出前講座などの実施(11回実施(延べ632人参加))</li> <li>市町村及び事業者に対し事業実施に向けた説明・意見交換を行い、立ち上げ支援(11市町・10事業者に実施)</li> <li>事業者の参入促進を図るため、国に対する要望を実施(6月及び11月に実施)</li> </ul>	<p>○ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の普及。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規参入事業者に対して、運営費等に係る経費を助成(通年)</li> <li>新規参入事業者等に対して、運営に係るノウハウを示すため、運営支援アドバイザーを派遣(通年)</li> <li>ケアマネジャー等を対象に効果的な利用実例を示すため、事例発表会を実施(1月)</li> <li>ケアマネジャーや県民に対する県政出前講座などの実施(通年)</li> <li>市町村及び事業者に対し事業実施に向けた説明・意見交換を行い、立ち上げ支援(通年)</li> <li>事業者の参入促進を図るため、国に対する要望を実施(政府要望時)</li> </ul>	36市町 (H28年10月1日)	B	21 市町村	30 市町村	35 市町村	36 市町村	63 市町村	<table border="1"> <caption>進捗状況(グラフ)のデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	年度	進捗状況	H25	21	H26	30	H27	35	H28	36	目標値(H28)	63	地域包括ケア課
年度	進捗状況																										
H25	21																										
H26	30																										
H27	35																										
H28	36																										
目標値(H28)	63																										

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部章	節	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課
								H25	H26	H27	H28.9末			
2	1	13	在宅医療 在宅療養支援診療所の数 432か所(H23年度末) ↓ 700か所(H29年度末)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在宅医療連携拠点を県内に30ある郡市医師会のうち、15郡市医師会に整備した。 ・医師の負担軽減のために、必要な時の入院先確保として在宅療養支援ベッドを15郡市医師会に設置した。</li> <li>・往診医登録、患者情報の共有を15郡市医師会で進めた。</li> <li>○ 病棟看護師を訪問看護の現場に同行研修させ、在宅の現場理解を深め、退院支援に役立てた。</li> <li>○ 各保健所において、医療・介護のネットワークを構築するための連携会議等を開催し、先行事例の情報提供などを行った。</li> <li>○ 在宅医療推進のため、医療と介護の連携に取り組む市町村へ助成を行った。</li> <li>○ 有識者等による在宅医療の専門部会を開催し、課題や解決策を検討したほか、各保健所で、医療・介護のネットワークを構築するための連携会議を開催し、先行事例の情報提供などを行った。</li> <li>○ 薬局・薬剤師による在宅医療等の受入体制の整備・促進を図った。 ・大学と連携した無菌調剤講習会：2か所105人 ・無菌調剤室の整備補助：1か所 ・衛生材料等の保管設備補助：1か所 ・無菌調剤のためのメンテナンス費用補助：2か所</li> <li>○ 在宅医療ニーズ調査を実施：10地区</li> <li>○ 多職種とのミーティングを開催：11地区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内に30ある郡市医師会ごとに在宅医療連携拠点を設置する(平成27年15か所)。また、往診医を増やす取組として、医師の負担を軽減するために、上記拠点ごとに急変時の入院先を確保するなか、往診医の登録制度を設けている。</li> <li>○ 訪問看護ステーションが適切な人材育成を実施できるよう訪問看護育成プログラムを策定する。</li> <li>○ 有識者等による在宅医療の専門部会を開催し、課題や解決策を検討するほか、各保健所において、医療・介護のネットワークを構築するための連携会議等を開催し、先行事例の情報提供などを行う。</li> <li>○ 医療と介護の連携を進めるため、医療介護連携のためのICTを郡市医師会へ導入を行う。</li> <li>○ 薬局・薬剤師による在宅医療等の受入体制の整備の促進を図る。 ・大学と連携した無菌調剤講習会：2回 ・薬局間連携による無菌調剤室の共同利用の促進：4地区</li> </ul>	492か所 (H28年10月1日)	B	462 か所	483 か所	491 か所	492 か所	700 か所		医療整備課 薬務課

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節(施策)	指標 数値目標	H27年度の実施状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課	
								H25	H26	H27	H28.9末				
2	1	15	感染症対策  HIV感染者早期発見率 64%(H23年) ↓ 80%(H28年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年5回、県内の主要駅近くの施設で、休日のHIV即日検査を実施した。</li> <li>エイズ及び性感染症の正しい知識の普及啓発のため、保健所等を通じてパンフレットを配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年5回、県内の主要駅近くの施設で、休日のHIV即日検査を実施する予定。</li> <li>エイズ及び性感染症の正しい知識の普及啓発のため、保健所等を通じてパンフレットを配布する。 また、本年度からバナー広告による普及啓発を行う。</li> </ul>	62.9% (H27年)	A		73.2%	51.1%	62.9%	—	80%		疾病対策課
2	1	16	保健医療福祉従事者等の確保  臨床研修医の採用実績 1,500人 (H24年度～ 28年度累計)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県総合医局機構による医師確保を図った。 ・キャリアステージごとの医師確保 奨学金・研修資金貸与等による医師確保:154人 臨床研修医の誘導:268人 県外からの医師確保:17人 計439人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県総合医局機構による医師確保を図る。 ・キャリアステージごとの医師確保 奨学金・研修資金貸与等による医師確保:197人 臨床研修医の誘導:300人 県外からの医師確保:15人 計512人</li> </ul>	1,021人 (H27年度)	C	(参考) 単年度	236人 H24 236人	488人 H25 252人	753人 H26 265人	1,021人 H27 268人	1,500人		医療整備課
2	1	16	保健医療福祉従事者等の確保  医師数 (人口10万人当たり) 【参考指標】 142.6人 (全国最下位・H22年) ↓ 全国最下位脱出 (H28年)			152.8人 全国最下位 (H26年度)	C		142.6人 全国最下位 H22	148.2人 全国最下位 H24	152.8人 全国最下位 H26	—	全国最下位脱出		

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課										
								H25	H26	H27	H28.9末													
2	1	16	看護職員就業者数(実員) 【参考指標】 53,292人(H22年末) ↓ 63,500人(H28年末)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新人看護職員研修事業の実施や看護師等の定着・就労を支援した。</li> <li>・新人看護職員合同研修の実施：16日間</li> <li>・新人看護職員支援者研修の実施：6日間</li> <li>・新人看護職員研修事業費補助の実施：133施設</li> <li>・病院内保育所運営費補助の実施：125施設</li> <li>・就労環境改善施設整備補助の実施：2施設</li> <li>・就業環境改善アドバイザーの派遣：5回</li> <li>・就業環境改善管理者研修の実施：1回</li> <li>・メンタルヘルス対策の実施</li> <li>○復職支援事業の充実強化を図り、未就業看護職員の復職を支援した。</li> <li>・ナースセンターの運営</li> <li>・巡回就業相談の実施</li> <li>・再就職技術講習会の実施：31回</li> <li>・職場復帰支援事業の実施：復職者：42人</li> <li>○看護師等養成所に対する運営費補助、看護学生に対する育英奨学金貸与、各種研修を実施し、看護師の質的・量的な確保を推進した。</li> <li>・看護師等養成所運営費補助の実施：45課程</li> <li>・看護師等育英奨学金の貸与：85人</li> <li>・各対象に応じた研修の実施：キャリアアップ研修会等：212人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新人看護職員研修事業の実施や看護師等の定着・就労を支援する。</li> <li>・新人看護職員合同研修の実施：13日間</li> <li>・新人看護職員支援者研修の実施：6日間</li> <li>・新人看護職員研修事業費補助の実施：149施設</li> <li>・病院内保育所運営費補助の実施：136施設</li> <li>・就労環境改善施設整備補助の実施：1施設</li> <li>・就業環境改善アドバイザーの派遣：5回</li> <li>・就業環境改善管理者研修の実施：2回</li> <li>・メンタルヘルス対策の実施</li> <li>○復職支援事業の充実強化を図り、未就業看護職員の復職を支援する。</li> <li>・ナースセンターの運営</li> <li>・巡回就業相談の実施</li> <li>・再就職技術講習会の実施：30回</li> <li>・職場復帰支援事業の実施：70施設</li> <li>○看護師等養成所に対する運営費補助、看護学生に対する育英奨学金貸与、各種研修を実施し、看護師の質的・量的な確保を推進する。</li> <li>・看護師等養成所運営費補助の実施：50課程</li> <li>・看護師等育英奨学金の貸与：90人</li> </ul>	58,706人 (H26年末)	B	H22 53,292 人	H24 55,985 人	H26 58,706 人	—	63,500 人	<table border="1" style="display: none;"> <caption>進捗状況(グラフ)のデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>53,292人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>55,985人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>58,706人</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td>63,500人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	H22	53,292人	H24	55,985人	H26	58,706人	目標値(H28)	63,500人	医療整備課
年度	数値																							
H22	53,292人																							
H24	55,985人																							
H26	58,706人																							
目標値(H28)	63,500人																							



## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部章	節	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課		
								H25	H26	H27	H28.9末					
2	1	16	保健医療 福祉従事者 等の確保  認定看護師を配置する 高度専門病院の割合  41%(H24年) ↓ 100%(H28年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門的な能力を持つ看護師の養成・確保を推進した。 ・認定看護師資格取得支援の実施:15人</li> <li>・認定看護師教育機関派遣支援の実施:2施設</li> <li>・認定看護師教育機関派遣支援の実施:14人</li> <li>・実務研修派遣支援の実施:4施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門的な能力を持つ看護師の養成・確保を推進する。 ・認定看護師資格取得支援の実施:15人</li> <li>・認定看護師教育機関派遣支援の実施:2施設</li> <li>・認定看護師教育機関派遣支援の実施:10人</li> </ul>	<b>76%</b> (H27年末)	B		54%	56%	76%	—	100%		医療整備課	
2	2	1	健康づくり 対策  埼玉県版健康寿命 男16.7年(H22年) ↓ 17.3年(H28年) 女19.7年(H22年) ↓ 20.0年(H28年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康長寿埼玉プロジェクトの推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康長寿埼玉プロジェクトの推進。</li> </ul>	<b>男性16.96年</b> <b>女性19.84年</b> (H26年)	A		(男) 16.85 年	(男) 16.96 年	—	—	(男) 17.3 年	(女) 20.0 年		健康長寿課
2	2	2	親と子の保健 対策  児童虐待相談のうち助言・ 指導により解決した割合  60%(H22年度) ↓ 70%(H28年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村において、乳児全戸訪問、養育支援訪問を実施した。</li> <li>○ 県内の周産期母子医療センター等と連携し、養育支援の必要な親子を早期に把握した。</li> <li>○ 児童虐待対応マニュアルの活用徹底。</li> <li>○ 全ての児童相談所・支所への非常勤職員(計30名)及び警察官OBの配置。</li> <li>○ オレンジリボンキャンペーンなど県民に対する児童虐待防止の啓発。</li> <li>○ 保育従事者、教職員などへの研修。</li> <li>○ 里親制度の推進。</li> <li>○ 乳児院や児童養護施設など養育の場の確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町村において、乳児全戸訪問、養育支援訪問を実施する。</li> <li>○ 県内の周産期母子医療センター等と連携し、養育支援の必要な親子を早期に把握する。</li> <li>○ 全ての児童相談所・支所への非常勤職員(計30名)及び警察官OBの配置。</li> <li>○ オレンジリボンキャンペーンなど県民に対する児童虐待防止の啓発。</li> <li>○ 保育従事者、教職員などへの研修。</li> <li>○ 里親制度の推進。</li> <li>○ 乳児院や児童養護施設など養育の場の確保。</li> </ul>	<b>68%</b> (H27年度)	A		60%	66%	68%	—	70%		健康長寿課 子ども安全課	
2	2	4	歯科保健 対策  12歳児でのう蝕の ない者の割合の増加 62.5%(H23年) ↓ 65%(H27年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域在宅歯科医療推進拠点」(県内19か所)を設置し、在宅歯科医療の推進体制を整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歯科保健推進事業の推進。</li> </ul>	<b>64.8%</b> (H26年)	A		59.8 %	64.8 %	—	—	65%		健康長寿課	

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部章	節	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課	
								H25	H26	H27	H28.9末				
2	3	1	安全な食品の提供	彩の国ハサップ ガイドラインリーダーの 養成者数  16,000人 (H24年度～ 28年度累計)	○ 彩の国ハサップガイドライン リーダー養成講習会を開催 し、3,899人、延べ14,660 人のリーダーを養成した。	○ 彩の国ハサップガイドライン リーダー養成講習会を13回以 上開催し、延べ16,000人の リーダーを養成する。	14,660人 (累計)	A	6,953 人	10,761 人	14,660 人	—	16,000 人		食品安全課
2	3	3	献血の推進	献血者数 242,070人 (H23年度) ↓ 270,000人 (H28年度)	○ 献血推進ポスターコンクール ・対象:中学生、応募数 :78校664作品 ・知事賞最優秀賞作品を愛の血 液助け合い運動月間の啓発ポ スターに活用 ○ 「愛の血液助け合いの集い」 の実施 ・献血功労団体(者)及び献血 推進ポスターコンクール入賞者 の表彰(7/24、埼玉会館) ○ 市町村が行う献血者確保 促進事業への助成 ・62市町村、2,892千円 ○ 若年層献血の推進 ・若者を対象とした啓発キャン ペーンの実施 ・高校校内献血の実施 ○ ブロック血液センター埼玉 製造所を社会科見学に 活用 ○ 埼玉輸血フォーラムの 開催 ○ 彩の国だより、モーニング スクエアを活用した広報	○ 献血推進ポスターコンクール ・対象:中学生 ○ 「愛の血液助け合いの集い」 の実施 ・献血功労団体(者)及び献血 推進ポスターコンクール入賞者 の表彰(7/29、さいたま市民 会館うらわ) ○ 市町村が行う献血者確保 促進事業への助成 ・62市町村、2,892千円 ○ 若年層献血の推進 ・若者を対象とした啓発キャン ペーンの実施 ・高校校内献血の実施 ・高校生献血カードの配布 ・初回献血者お友達&ご家族 紹介キャンペーン ○ ブロック血液センター埼玉 製造所を社会科見学に 活用 ○ 埼玉輸血フォーラムの 開催 ・血液剤の適正使用の促進 ○ 彩の国だより、モーニング スクエアを活用した広報	235,485人 (H27年度)	B	238,897 人	233,033 人	235,485 人	114,845 人	270,000 人		薬務課
2	3	6	人と動物との ふれあいの推 進	アニマルセラピー活動の 協力ボランティア委嘱数 88人(H23年度末) ↓ 130人(H29年度末)	○ アニマルセラピーボランティア の委嘱。 ○ ボランティアに対する研修会 の実施。 ○ アニマルセラピー活動犬の保 菌検査等健康管理。 【参考】動物指導センターでの 犬猫の人獣共通感染症等検 査数:974件) ○ 社会福祉施設等への訪問活 動実施。 ○ 県民の日事業等でアニマルセ ラピー活動をPR。	○ アニマルセラピーボランティア の委嘱。 ○ ボランティアに対する研修会 の実施。 ○ アニマルセラピー活動犬の保 菌検査等健康管理。 (動物指導センターでの犬猫 の人獣共通感染症等検査) ○ 社会福祉施設等への訪問活 動実施。 ○ 彩の国さいたま動物愛護フェ スティバル等でアニマルセラ ピー活動をPR。	96名	B	92 人	114 人	116 人	96 人	130 人		生活衛生課

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節(施策)	指標 数値目標	H27年度取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課		
								H25	H26	H27	H28.9末					
2	3	6	人と動物との ふれあいの推 進	収容動物の致死処分数  4,367頭・匹 (H23年度) ↓ 1,000頭・匹未 満 (H28年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物愛護週間や県民の日に 合わせ、動物愛護に関する街 頭啓発活動等を実施。</li> <li>収容動物の新たな飼い主探し (譲渡活動)を実施。</li> <li>市町村の野良猫を対策を支 援する地域猫活動推進事 業。</li> <li>啓発活動等への協力ボラン ティアとして動物愛護推進員 を公募・委嘱。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物愛護週間や埼玉県フェア 2016に合わせ、動物愛護 に関する街頭啓発活動等 を実施。</li> <li>収容動物の新たな飼い主探し (譲渡活動)を実施。</li> <li>市町村の野良猫を対策を支 援する地域猫活動推進事 業。</li> <li>啓発活動等への協力ボラン ティアとして動物愛護推進員 を公募・委嘱。</li> </ul>	856頭  (H28当初目標: 1,000頭未満)	B		2,430 頭	1,939 頭	1,705 頭	856 頭	1,000 頭 未満		生活衛生課
3	1	2	医療の効率 的な提供の 推進	平均在院日数 (介護療養病床を除く) 【参考指標】  31.5日(H23年) ↓ 30.8日(H29年)  ※ 医療費適正化 計画関連指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>【医療整備課】</li> <li>埼玉県医師会と連携して地 域連携クリティカルパスの 普及のための研修会・情報 交換会を開催した。 研修会：2回 情報交換会：6回</li> <li>基準病床数に加算できる病 床数を活用して、中核的な 医療機関などの病床を整備 H25年度に実施した病床 公募で29病院1,854床の増 床を承認し、うち27年度ま でに12病院331床が整備 済。</li> <li>H27年度に実施した病床 公募で27病院612床の増床 を承認。</li> <li>有識者等による在宅医療の 専門部会を設置し、課題や 解決策を検討するほか、各 保健所に、医療・介護の ネットワークを構築するた めの連携会議を設置した。 在宅医療推進のため、医療 と介護の連携に取り組む市 町村へ助成した。</li> <li>【健康長寿課】 「地域在宅歯科医療推進拠 点」（県内19か所）を設 置し、在宅歯科医療の推進 体制を整備。</li> <li>【薬務課】 在宅医療を担う薬剤師の養 成を図るため、ステップアップ 講習会を開催した。 受講者：延べ1,268人</li> <li>【地域包括ケア課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【医療整備課】</li> <li>埼玉県医師会と連携して地 域連携クリティカルパスの 策定・普及を推進し、切れ 目のない医療を受けられる よう医療連携体制の整備を 進める。</li> <li>かかりつけ医を支援する中 核的な医療機関などの病床 を整備 急性期病床及び療養病床か ら地域包括ケア病棟及び回 復期リハビリテーション病 棟に転換する医療機関への 助成を実施し、回復期病床 の整備を促進する。</li> <li>有識者等による在宅医療の 専門部会を設置し、課題や 解決策を検討するほか、各 保健所に、医療・介護の ネットワークを構築するた めの連携会議を開催する。</li> <li>県内に30ある都市医師会ご とに在宅医療連携拠点を設 置する（平成27年度15か 所）。また、往診医を増や す取組として、医師の負担 を軽減するために、上記拠 点ごとに急変時の入院先を 確保するなか、往診医の登 録制度を設けている。</li> <li>【健康長寿課】 歯科保健推進事業の推進</li> <li>【薬務課】 在宅医療を担う薬剤師の養 成を図る。 ステップアップ講習会を開催 同行訪問による在宅訪問 薬剤師の育成</li> </ul>	29.2日 (H26年)	S		31.0 日	30.2 日	29.5 日	—	30.8 日		医療整備課 健康長寿課 薬務課 地域包括ケア 課 (高齢介護 課)

## 第6次埼玉県地域保健医療計画の進捗及び取組状況

部	章	節(施策)	指標 数値目標	H27年度の取組状況	H28年度に予定している取組	H28年9月末日の状況	達成 見込	進捗状況				目標値 (再掲)	進捗状況(グラフ)	担当課
								H25	H26	H27	H28.9末			
				在宅医療・介護連携の推進 市町村担当職員研修 ○ (5/14、110人参加) 地域包括支援センター従事 者研修事業の実施。 市町村向け研修 市町村職員研修(6/3、65 人参加)、市町村管理職研 修(5/26、256人参加) (センター長研修と合同) 地域包括支援センター向け 研修 入門研修(5/15・19、 189人参加)、レベルアッ プ研修(7/13・14、125人 参加)、管理職研修 (5/26、256人参加)(市 町村管理職研修と合同) ○ 市町村における地域ケア会 議の効果的な開催を支援す るため、「地域包括ケアシ ステム支援人材バンク」か ら専門職を派遣(54回・ 延べ85人派遣)。 地域ケア会議における司会 者養成研修を実施(6/17・ 19、延べ353人参加)。	<b>【地域包括ケア課】</b> ○ 在宅医療・介護連携の推進 市町村担当職員研修 (8/4) ○ 地域包括支援センター従事 者研修事業の実施。 地域包括支援センター職 員入門研修(5/16・18) 市町村担当職員・地域包 括支援センター職員合同研 修(7/12・13) 市町村管理職研修・セン ター長合同研修(5/25) ○ 地域ケア会議の実施支援 市町村における地域ケア 会議の効果的な開催を支援 するため、「地域包括ケア システム支援人材バンク」 から専門職を派遣(通 年)。 自立支援型地域ケア会議 の立上げを支援するため、 専門職等から構成される自 立支援チームを派遣(2市 町、6月～) 地域ケア会議における コーディネーター(司会 者)養成研修(10～11月、 計4か所)及び専門職(薬 剤師、栄養士)を対象とし た研修(10～11月、2回) を実施。									

- ・ 第6次医療計画策定数値指標 : 36指標【うち、策定時よりも進捗している指標:34(94%)】
- ・ 第2次医療費適正化計画関係指標 : 4指標【うち、策定時よりも進捗している指標:4(100%)】
- ・ 達成見込 : S(計画の終期を待たず、目標を達成済):3  
 A(計画期間内の目標達成に向け順調に進捗しており、目標を達成する見込み):19  
 B(進捗がやや遅れており、目標達成に向けて更なる取組が必要):11  
 C(進捗が著しく遅れており、目標達成が困難):3